

平成 19 年 5 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社サイバードホールディングス
代表者名 代表取締役会長 小村 富士夫
(J A S D A Q ・ コード 4823)
問合せ先
役職・氏名 執行役員 財務本部長 安田 博祐
電 話 03 - 5785 - 6110

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 5 月 21 日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社 JIMOS 及び Airborne Entertainment Inc. の株式に係る特別損失を、平成 19 年 3 月期通期業績において計上することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、株式会社 JIMOS の株式に係る当期末の特別損失計上は、平成 18 年 11 月 17 日付にて既にその方針をお知らせしております。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 株式会社 JIMOS の株式に係る特別損失の計上

既に、平成 18 年 11 月 17 日付の「中間期業績概況及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表のとおり、平成 18 年 10 月 1 日付で実施した当社の株式交換による株式会社 JIMOS の子会社化に際し発生したのれんに対する減損（単体業績では子会社株式評価損）につき、平成 19 年 3 月期連結業績において、特別損失に計上することを予定しておりました。今回、当該減損金額が確定したことから、連結業績において 4,985 百万円（単体業績では 5,187 百万円）の特別損失計上を決定したものであります。なお、これにより当期末における当該のれん未償却額は 24 百万円程度まで縮小され、次期以降の当該のれんに係る財務面への影響はほぼ消滅しております。

(2) Airborne Entertainment Inc. の株式に係る特別損失の計上

北米モバイル・コンテンツ市場は今後も高い成長性が期待されている一方、昨今の端末の高機能化やユーザーの嗜好変化等の可能性から、今後の各コンテンツプロバイダーにおける市場変化への対応の必要性や従来以上の競争の激化も予想されております。当社の連結子会社である Airborne Entertainment Inc. は、現地にてモバイル・コンテンツ事業を展開しており、収益性については堅調に推移しておりますが、上述のとおり今後の市場環境等を鑑み、当社は、保守的見地から当期連結業績において同社株式に係るのれんの減損を実施し、特別損失 435 百万円の計上を決定したものであります。

2. 業績に与える影響

1. (1) にて記載のとおり、株式会社 JIMOS の株式に係る特別損失につきましては、既に平成 19 年 3 月期の通期業績予想にその殆どを織り込み済みであり、また、本件を含めた特別損失全体による業績予想への影響と新たな通期業績の見込について、本日、「通期（連結・単体）業績予想との差異に関するお知らせ」にて別途発表しておりますのでご参照ください。

以 上